入間市上下水道審議会会議録

会議の名称	入間市上下水道審議会　（令和４年度第１回）
開閉日時	令和４年９月２８日（水）午後１時８分開会・午後２時１５分閉会
開催場所	豊岡配水場２階　大会議室
議長氏名	会長　森谷 秀一
出席委員	相葉　学、福島　和弘、小野寺　貴郎、野田　康弘、小川　晋、大野　忠宏、 山下　昇治、田中　智義、松下　操、菊池　繁子、池上　公子、手島　吉紀
欠席委員	鈴木　喜弘、森　美代
傍聴人	なし
出席職員	上下水道部　谷田部上下水道部長、忽滑谷上下水道部次長 上下水道経営課　豊泉参事兼課長、山川主幹、中村副主幹、豊泉主査 大石主任、鈴木主事補 水道施設課　平塚課長、野口主幹、工藤主幹、野村副主幹 下水道施設課　髙野課長、矢尾主幹、原島主幹、坂口副主幹
会議次第	１　開　会 ２　会長あいさつ ３　市長あいさつ ４　諮問事項 メーター口径１５０mm及び２００mmの水道利用加入金及び水道基本料金の新設について ５　議題 （１）メーター口径１５０mm及び２００mmの水道利用加入金及び水道基本料金の新設について （２）その他 ６　閉　会

配　布　資　料	・令和４年度第１回入間市上下水道審議会会議次第 ・入間市上下水道審議会委員名簿 ・メーター口径１５０mm及び２００mmの水道利用加入金の新設について（資料１） ・メーター口径１５０mm及び２００mmの水道基本料金の新設について（資料２） ・水道料金算定要領（資料３） ・入間市水道事業給水条例 ・座席表 ・意見用紙【諮問事項用】 ・返信用封筒
会議録作成方法	要点筆記

発　言　者	会議の進行・発言内容
上下水道部次長	定刻になりましたので、上下水道審議会を開催させていただきます。開催にあたりまして、森谷会長よりご挨拶をお願いします。
森　谷　会　長	（挨拶）
上下水道部次長	続きまして、杉島市長よりご挨拶をお願いいたします。
杉　島　市　長	（挨拶）
上下水道部次長	続きまして、諮問に入ります。市長より当審議会に諮問させていただきます。 （事務局より諮問書を杉島市長に渡す） （杉島市長、諮問書を読み上げ、森谷会長に渡す） （事務局にて諮問書の写しを各委員に配布する）
上下水道部次長	杉島市長におかれましては、この後、別の公務が入っておりますのでここで退席となります。 （杉島市長退席）
上下水道部次長	議題の前に上下水道部長より上下水道部職員の紹介をさせていただきます。

上下水道部長	４月１日付で上下水道部長に就任いたしました谷田部昭人です。組織の再編に伴い職員の異動・転入がございましたので紹介申し上げます。 （職員の紹介）
上下水道部次長	次第５の議題に入らせていただきます。審議会条例第５条第１項の規定により、会長が議長となることとされておりますので、森谷会長よろしくお願いいたします。
森谷会長	それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。 本日の出席委員は１３名で、欠席の届出は鈴木委員と森委員から出ております。審議会条例第５条第２項の規定により、定足数に達しておりますので、本日の審議会は成立していることを報告いたします。 なお、議題に入ります前に上下水道審議会の会議の公開についてお諮りいたします。当審議会においては、個人情報等を含まない案件であれば、非公開にすべき案件ではございませんので公開会議にしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
委員一同	（異議なし）
森谷会長	特に異議がないようですので、本審議会につきましては、原則公開で進めさせていただきます。 それでは、諮問事項に入ります。次第５の議題「（１）メーター口径１５０mm及び２００mmの水道利用加入金及び水道基本料金の新設について」説明をお願いいたします。 なお、各委員には事前に資料を既に配って読んでいただいておりますので、簡潔な説明をお願いいたします。
豊泉主査	次第５の議題に関する事業概要について説明
工藤主幹	メーター口径１５０mm及び２００mmの水道利用加入金の新設について（資料１）について説明
山川主幹	メーター口径１５０mm及び２００mmの水道基本料金の新設について（資料２）、水道料金算定要領（資料３）について説明
森谷会長	只今の説明につきまして、質問・意見等ございましたらどうぞ。 なお、意見等については、一問一答でお願いいたします。

手　島　委　員	資料１の水道利用加入金一覧表【表－１、２】にて加入金原価配賦額⑤の合計が約１４億９，７００万円となっていて、平成１１年に設定している数字であるが、令和４年の数字として使って良いのか。平成１１年に作成した数字と同じ数字を使用することについて説明できるならしておかないといけない。やはり２０年以上前の数字をそのまま使用してよいのかということになる。数字を変更してほしいといっているわけではなく、今説明しなくてもよいので、しっかりとした説明ができるようにしてほしい。
山　下　委　員	１点目は、平成１１年の加入金の料金表は、現在もそのまま適用されていて２０年以上変わってない。まずそのことを前提にして言わないとならない。２０年以上も前の数字を何故出すのか。物価だって色々上がっている。現在も水道利用加入金は変更していないということが前提になければならない。 ２点目として、今回ある企業から協議があったというのは、きっかけでしかなくて、今まで１５０mmとか２００mmっていうのはなかったということでよいか。なかったものを申請するという肝心なところ、根っこのところがきちんと説明されないと理解できないと思うがどうなのか。
森　谷　会　長	今の質問に対して、何かありますか。
平　塚　課　長	手島委員の先ほどの話ですが、加入金というのは今も平成１１年当時から変わらず使っており、今回の目的は口径１５０mmと２００mmを新規で追加したいため、口径１３mmから１００mmまでの加入金は変えない場合に、元々の根拠を変えてしまうと他の加入金も変わってきてしまいます。そのため、平成１１年当時の基本の単価を使って新規に追加で口径１５０mmと２００mmを追加したという経緯になっています。 また、山下委員からの質問で現在も平成１１年度当時の数字を使用しているのかということですが、平成１１年４月に改正してから今も変わらず、消費税だけが変わって、今も口径１３mmから１００mmまでのメーターを新規に設置するときにこの水道利用加入金というのを支払っていただいております。入間市に今まで口径１５０mmのメーターを使用するほどの企業がありませんでした。元々平成１１年当時は口径１５０mmを使う企業は来ないだろうというところで、口径１００mmまでで十分だと考えておりましたが、ここである企

	業さんからかなりの水量を使いたいという話がありました。口径１００ｍｍのメーターだと対応できない水量を使いますので、ここで審議会を開かせていただいて、皆さんと議論をさせていただきたいということで提案させていただいているものです。
田　中　委　員	ある企業から口径１５０ｍｍを必要だということだが、これは既存のある企業が設備を改修し、口径１５０ｍｍにするのか、それとも新たに企業が来るのかどちらなのか。
工　藤　主　幹	新たに来る企業のために算出しております。
田　中　委　員	それだけの水量を使用する場合、どういう業種か分からないが、かなりの敷地面積とか必要なのではないか。今の狭山台とか武蔵工業団地の中ではそんな用地はないように思うが、どうなのか。
工　藤　主　幹	その用地は確保できるという前提で給水計画書を提出していただいております。
田　中　委　員	今ある工業団地の中に新しく出てくるということか。
工　藤　主　幹	その敷地があるということで申請していただいております。
田　中　委　員	資料１の【表－３】について、近隣市の状況は口径２００ｍｍの場合、川越市は管理者が別に定める、それから所沢市は数字出ている。狭山市や飯能市は市長が別に定めるという形になっているが、近隣は企業誘致の関係とか特に狭山市は大きい企業があるため、市長判断でやっているというのもあるだろうが、その辺のところの整合性についてはどう考えているか。
山　川　主　幹	資料２の方で説明させていただきます。まず川越市の口径２００ｍｍにつきましては、想定していないということで、管理者が定める額となっております。また、狭山市も同じように想定していないとのことでこのような形にしていると話を伺っております。川越市につきましては水上公園がございますが、口径１５０ｍｍを利用されているようです。また、埼玉医大という大きな病院がありますが、口径１００ｍｍを利用されているということでございます。先ほども話しました狭山市は、口径１５０ｍｍはないとのことでございます。所沢市は口径２００ｍｍの料金設定はされておりますが、高層マンションの親メーターということで利用されていて、料金は算定されていないということになって

	おります。また、口径１５０mmにつきましては全部で１２か所付いているそうですが、そのうち６か所が高層マンションによる親メーターで利用されていて、残りの６か所は単独で付けられているそうです。先日、東所沢に新しく出来ましたさくらタウンですとか、所沢の駅前のワルツ、防衛医大、トコトコスクエア（元のダイエーの場所）、西埼玉中央病院、航空公園のところにあります米軍基地で利用されているとのことでございます。また、日高市につきましても、口径２００mmの料金が設定されております。太平洋セメントが口径１５０mmから２００mmに増径をしたいということで審議会にかけられまして、認められたそうです。
田　中　委　員	水道利用加入金については、平成１１年度の算定に基づいて当分はやっていくと思う。その数字の中で当時審議していただいていて、年間１，０００件ずつ増えて、平成１６年には５，０００件増えるという形であったと思う。現在はどれくらいに増えているのか。
工　藤　主　幹	今の申請は１，０００件より少ない状況でございます。
手　島　委　員	新水道ビジョンの中間評価について、こういう大口を追加した場合、見直しした計画に影響を及ぼすと見ているのか、あるいはそれ程の影響は及ばないと見ているのか。
上下水道部次長	企業の稼働は令和６年度からを予定しておりますが、実際の使用水量につきましては、どれぐらいの稼働率でやるのかというのは今の時点でははっきりしておりません。水道料金の方もまだ増えるのかなというところはございますが、今後協議書が出てまいりましてから、詰めていきたいとは考えております。新水道ビジョンへの影響は多少なりともあるとは思いますが、現時点では見込むことがなかなか難しいような状況でございます。
手　島　委　員	収益が悪くなれば水道料金を上げるという話があるが、こういう大口が入ってきてそれで水道料金上がったらどうしてそうなるのかということになる。それから、有収率は１００％でないですよね。料金回収率も１００％ではない。いつ回収率が悪くなるか分からない状態の中でこういう新しいものが入ったときに値上げを必要となるところまで行くのか、行かないのか、そこを見通したうえでこういう料金をださないといけないと思う。あるいはこういうサービス

	をやるのかというところが市民としては不安になると思う。
上下水道部次長	料金回収率につきましては１００％以上ということで、回収は出来ている状況でございます。只今も申し上げましたように大口の企業が入るということで、利益も少し上乗せになるのかなという反面、電気料金などの物価高騰もありますので、慎重に試算の方はしていきたいと考えております。
田　中　委　員	具体的に企業が進出してくるという中での料金の新設だとは思うが、そうなると口径１５０mmを作るにあたって、既存の水道管はそのままで大丈夫なのか。
工　藤　主　幹	既存の水道管では足りない状況ですので、新たに申請者の方に配水管を布設していただく予定です。
田　中　委　員	事業者負担で配水管を布設するということか。
工　藤　主　幹	はい。そういうことです。
田　中　委　員	今、県水とそれから鍵山浄水場の水を使っているわけだが、昔は県に気を使って鍵山の割合をある一定で抑えさせていた経緯があると思う。鍵山の割合が多くなってきていると思うが、今の鍵山浄水場と県水の割合はどれくらいか。
平　塚　課　長	県水が８割で鍵山浄水場が２割です。
森　谷　会　長	次、松下さんどうぞ。
松　下　委　員	私の家の前にちょうど１年前くらいから新しい耐震化の工事をしている。藤沢中学校の裏も工事をしていた。今どのあたりまで耐震の工事は進んでいるのか。
平　塚　課　長	耐震化の工事は、短期耐震化計画によりまして、古い管から順番にやっていく形で行っています。松下委員のお宅の前は昨年度竣工させていただきました。古い管というのは様々な地区にございます。古い順番にやっていくのでどこまで終わったかということについては、少し難しいのですが、古い年度から計画を立てて順番に施工しておりますのでよろしくお願いいたします。
松　下　委　員	東藤沢の東藤沢公民館のあたりに古い家があり、道も細いし、大変である。そちらの方が早い方がいいのかなと思っている。
平　塚　課　長	恐らく、角栄団地という東藤沢五丁目、四丁目とかあの辺の話だと思いますが、あの辺は一部、ダクタイル管という管に入れ替わっております。

山　下　委　員	料金の話とは直接関係ないが、大規模に水を使う事業者が入ってくるということでよいか。先ほどの説明で配水管は事業者負担で布設するという話でよいか。どういう会社か見当がつかないので、何とも言えないが、大量に水を使って、その水を大量に排水する会社だということになる。日本全国で未だに工場の水のトラブルというのは起きているのはご存じか。そういうことについては、水道ではどう考えているのか。これだけ大きなものが入間市に来て「ああ、良かったね」、「大きな企業が来て良かった」と単純に喜べる話だけでは正直ない気がする。どんな風に対策を考えているのか、将来のことは見据えているのか。
平　塚　課　長	今回の企業さんが来たいというお話は昨年度からありまして、その企業さんのところに水を送るまで、今既存である水道管、つまり管網といいますが、そういうところから、あと、水を送る配水場の能力、それも全部含めて検討した結果、企業さんが使いたい水は、口径が大きい管をそこに入れれば対応ができるという形で細かいところまで確認はして検討しております。
山　下　委　員	私が質問したのは、一番心配なのはどんなことをやる会社が来て、どういう排水をするのかということである。排水処理とか当然色々考えられる。私は自治会の側から話をしているが、６月の市民清掃デーだけじゃなくて、今、自主的になったが「霞川をきれいにする会」の活動で、清掃、ごみ拾い、草刈りなどを行い、自分の住んでいる町の生活環境を良くしようと思って活動しているボランティアがある。そこの川に変なものを流されたりしたら困る。そのことを心配している。そういうことに対してどうなのか。
髙　野　課　長	ある企業さんが水を使われまして、そこから排水されます、通常、汚水と言われるものにつきましては、公共下水道で処理をしていただくというような予定となっております。川に行くというようなことではなくて、下水を通じまして、処理場の方に排出される計画となっております。
山　下　委　員	当然、検査するということでよいか。
髙　野　課　長	もちろん検査はしますし、良好な排水が確保されているかというのも見ます。その辺は下水道施設課としても確認はしていく予定でございます。
池　上　委　員	一消費者として質問したい。今回そういった大きな口径の企業が入ってくるということは、使用する水量も大きいと思う。今年の夏は渇水とならず、私は

	入間市ではまだ断水の経験がないが、今後、水量がそういう大きなところで集中して使われると一般消費者に対して、断水が起こりうるんじゃないかなという懸念を感じる。その他の質問として、市役所が消費者一人ひとりの安全をきちんと提供できるのかというのを考えていただきたいと思う。これらの点についてどう考えてらっしゃるのかをお聞きしたいです。
平塚課長	先程、私の方からご説明しましたけども、企業さんが来るにあたって、水を使用した状態で水圧が落ちないか計算をし、そうした場合にこの口径の管がどの程度必要だろうというところまで計算をしまして、企業さんの方にこれだけの口径が必要です、という説明を行いました。従いまして、大きい企業が水を大量に使用すると皆さんの水が出なくなるなどの心配はありませんので、それだけご承知ください。
池上委員	渇水状態になったら一般市民の各家庭を優先して配水するということでしょうか。
平塚課長	渇水となると、企業さんだけ使わないでくださいとか、そういうことはできません。市全体で何%落とすとか皆さんで同一でということになります。ただ、渇水にならないように、天候の関係もありますので中々難しいところもあります。企業さんと市民の方を分けるというのはちょっとできないんですけども、皆さん同一で節水対策をしてくださいというのとあと何%落としますという本当にそうなった時には協力してもらうようになってしまいます。
森谷会長	他にありませんか。その他で、どうぞ。
大野委員	下水道事業で一点だけ聞きたい。入間市で本下水がかなり進んでいると思う。以前いただいた資料だと９２%位という数字だと聞いている。どういう９２%なのか少しわからないが、９２%はどういう状況なのか。また、残りの部分、まだ本下水が入っていない地域もあるようだ。具体的には鍵山浄水場の近くから西側、牛沢地区の一部だと思うが、まだ本下水が入っていない。住民の方からはどうなっているのかなという声も私は聞いているし、入間市全体の中で本下水がまだ入っていない地域があるのかどうか、どのくらいあるのか、あるいは本下水が入れられない、構造的あるいは地理的に入れられないところもあるのではないかと。素人考えであるが、お聞かせいただければありがたい。

髙　野　課　長	まず最初に言われました、９２％のところですが、恐らく後期基本計画と中長期経営計画にあるものと一緒で、下水道の有収率と申しまして、下水道に流れたものの処理が適正に行われているか、というものになります。今年度につきましては、パーセンテージ的には上がっておりまして、９３．１２％で、下水道がどれだけ入間市に広がっていますよ、どの場所が使えますよ、という普及率とは異なります。入間市の中で何％が下水道を使えますよという数字とも違いまして、トイレとかそういったところから流れるものの処理する率がどの程度かを示すもので、１００％に対して９３％の汚水処理水が、それ以外に不明水がありまして処理しています。次に、下水道が接続されていない、できない場所というのは鍵山の排水ポンプ場があるところだと思うんですが、下水道の全体の事業計画がありまして、基本的には概ね市街化区域を整備の区域として定めておりまして、今、言われているところは恐らく市街化調整区域となりますので、今のところ予定が立っていないような状況で、下水道整備区域としては含まれていないような状況となっております。
大　野　委　員	分かりました。９２％は私の理解が不足していたと思うが、世帯数でいうと、どのぐらいカバーされているのか。本下水に加入しないというのは任意で自由だとは思う。そういった方は無視して、いつでも下水に接続という方のカバー率がどのくらいあるのかご存知でしたら教えていただきたい。
髙　野　課　長	整備率で申しますと、９７．７％になります。
森　谷　会　長	よろしいですか。それでは、時間も押し迫ってきていますが、どうしても質問されたい方はいらっしゃいますか。
委　員　一　同	（質問なし）
森　谷　会　長	それではこれで議題についての質疑は終了といたします。（２）その他に移ります。事務局より報告ありましたらお願いします。
豊　泉　主　査	（事務局より今後の日程等について報告）
森　谷　会　長	以上をもちまして、本日のスケジュールは終了いたしました。 それではこれで議長の任は解かさせていただきます。ありがとうございました。
上下水道部次長	ありがとうございました。それでは、閉会にあたりまして、相葉副会長より

相葉副会長 上下水道部次長	ご挨拶をお願いいたします。 （閉会の挨拶） ありがとうございました。これにて本審議会を閉会とさせていただきます。 本日はお疲れ様でした。

議事のてん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためにここに署名する。

令和 4 年 10 月 19 日

入間市上下水道審議会会長　森谷秀一